別紙２　ファンド設立趣意書への主な記載内容

＜南相馬市官民連携次世代産業育成ファンド＞

以下の 1～4 の項目についてまとめた電子データを設立趣意書として提出すること。電子データのフォーマットは問わない（PowerPoint、PDF、Word 等）。なおプレゼンテーション審査は提出された設立趣意書にて行う。

※記載内容に機密情報が含まれる場合の取扱いについては、募集要項「第６　提出書類」によるものとする。

１　運営会社の状況

（1）会社の業歴

（2）経営者・役員の履歴

（3）会社の強み、競争優位性

（4）組織体制

（5）過去 3 期の決算状況（売上・利益・自己資本 等）と今期の収支見込み

（6）過去 3 期の事業セグメント別の売上と利益の状況、今後の見通し

２　提案ファンドの詳細

（1）基本概要

① 概要（ファンド名称、ビークル形態、スキーム 等）

② ファンド規模（コミットメント想定額、想定最少額～最大額）※市出資想定分除く

③ LP 構成の状況（候補者の有無、候補者名、出資予定額、出資確度 等）

④ 投資内容（投資テーマ、投資対象 等）

⑤ 期間（存続期間、投資期間）

（2）投資体制

① 投資委員会メンバー（議決権を持つ者）について（略歴、在籍年数、ファンドへのコミットメント額）

② マネージャー、各投資担当者・他メンバーについて（略歴、在籍年数、投資実績、総就労時間に対する本事業へ従事する時間の割合）

③ チームの強み（競争優位性 等）

④ 体制安定化のための手法（メンバーのターンオーバー 等）

(3) 管理・レポーティング体制

① ミドル・バック各担当者について（略歴、専門分野 等）
※外部委託している場合は委託先の体制を含む

② コンプライアンス監視体制（内部体制、外部顧問弁護士との契約の有無等）

(4) 投資プロセス

① 投資戦略

② ソーシング・案件のスクリーニングの手法

③ ハンズオン支援の手法

④ 投資先のモニタリング手法

⑤ Exit 戦略

(5) 政策的意義

① 本事業が実施されることで、市が目指す「イノベ重点分野を中心とした次世代産業の集積と新たな産業基盤の確立」にどう寄与できるか

② 本事業において想定する投資先企業

③ 投資テーマの達成度の確認方法

④ 出資先企業による地域還元に関する取り組みや実績等についてのレポート（主な内容、作成体制等）

⑤ ESG 投資への取組み
※なお、ここでの「ESG 投資」とは国際連合が立ち上げた PRI（Principles for Responsible Investment）が目指しているものを指す。

(6) ファンドに係る費用、報酬

① 管理報酬の料率

② その他の費用（設立費用、追加出資に伴う費用 等）

③ キャリード・インタレスト、ハードルレート等の料率、条件

(7) 本事業と他の社内事業（運営会社の関係会社が運営するファンドその他の関係会社の社内事業を含む。）との間における利益相反の発生リスクとその対策

3　市が求める要件への対応

(1) 市が有限責任組合員として出資する際に求められる法的要件（第二種金融商品取引業、投資運用業等（適格機関投資家等特例業務の届出を含む））の整備体制

(2) 市の投資対象等要件への対応（コミット可能な割合）

(3) その他、募集要項に定める諸要件への対応

4　これまでのファンド運営実績（トラックレコード等）

※原則はクローズしたファンドの実績を記載

※運営会社に対象ファンドが無ければ、提案ファンドのマネージャーに付随するものでも可

(1) ファンド内容

① 概要（名称、形式、ファンドサイズ、LP 構成、投資件数 等）
② 投資内容（投資テーマ、投資対象 等）
③ 期間（存続期間、投資期間）

(2) 投資成果

① 投資倍率（ネット/グロス）
② IRR（ネット/グロス）
③ DPI（実現倍率）
※DPI=分配金累計金額/Paid In Capital

(3) ハンズオン支援の具体的内容